

# 事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
22321	公衆便所維持管理事業	環境部	清掃施設課	シートA	2
53133	南クリーンセンター運営管理事業	環境部	清掃施設課	シートA	3
53133	西クリーンセンター運営管理事業	環境部	清掃施設課	シートA	4
53133	横谷埋立センター運営管理事業	環境部	清掃施設課	シートA	5
53133	大西谷埋立センター運営管理事業	環境部	清掃施設課	シートA	6
53133	中島リサイクルセンター運営管理事業	環境部	清掃施設課	シートA	7
59999	松山衛生事務組合負担金	環境部	清掃施設課	シートA	8

平成31年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	平成31年度	評価対象年度	平成30年度
--------	--------	--------	--------

※シート内で改元日以降の日付を旧元号(平成)で記載している場合は、新元号に読み替えてください。(例:平成31年5月1日→新元号元年5月1日)

H31年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	施設整備担当	連絡先	948-6901				
	部等長名	藤本 則彦	課等長名	岸 洋三	リーダー名	副主幹	岡田 真規子	担当者名	主査	安倍 健太郎	技師	上田 純
H30年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	施設整備担当	連絡先	948-6901				
	部等長名	大西 高史	課等長名	岸 洋三	リーダー名	主幹	大西 昭寿	担当者名	主査	高松 学	技師	上田 純

1. 事業概要【Plan】 ※平成30年度の内容

事務事業名(施策コード)	22321	公衆便所維持管理事業	事業登録	既存	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-			
施策	良好な衛生環境の維持			主な取り組み	-			
主な取り組み	生活衛生の向上		市長公約					
取り組みの柱	生活衛生施設の衛生水準の維持・向上							
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	-
	政策	-			-			-
	施策	-			-			-

総合計画の実施計画掲載有無(H30)	2:無し	重点的取組事業該当有無(H30)	2:無し	(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成
--------------------	------	------------------	------	-----------	------	----	----------	----

根拠法令,条例,個別計画等								
---------------	--	--	--	--	--	--	--	--

事業の目的(どのような状態にするか)	当該が管理する市内14箇所に設置された公衆便所を衛生的に維持管理し、公衆衛生の保全及び市民の利便性の向上を図る。							
背景(どのような経緯で開始したか)	地元要望等によって設置。							
対象(誰を、何を)	市内14箇所の公衆便所							
事業内容(どのような活動・手段か)	衛生的な利用を図るため、日常清掃・維持管理業務及び浄化槽保守点検業務を実施。破損・故障時には緊急修繕工事の実施。							
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	2:無し	有りの場合、その協働の内容					
事業の周知状況	HP掲載の有無	1:有り	(有りの場合) URL	<a href="http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/kurashi/seikatsu/sonota/koshubeno.html">http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/kurashi/seikatsu/sonota/koshubeno.html</a>		パンフレット等の有無	2:無し	(有りの場合) 設置場所
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由					
始期・終期(年度)	平成	2	～	終期設定できない場合の理由				公衆衛生を維持するために欠かせないため。

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費		清掃費	目	し尿処理費	H30予算措置時期	当初
				H28年度	H29年度					
現計予算額(A)(単位:千円)				8,545	9,285			8,213		8,297
決算額(B)(単位:千円)				7,738	8,393			8,129		
内訳(単位:千円) ※H28~30→決算内訳, H31→予算内訳	国支出金			0	0			0		0
	県支出金			0	0			0		0
	市債			0	0			0		0
	その他			56	49			34		0
	一般財源			7,682	8,344			8,095		8,297
主な経費(単位:千円) ※H30→決算,H31→予算							委託料 4,334千円 需用費 1,758千円 工事請負費 1,436千円		委託料 4,398千円 需用費 2,242千円 工事請負費 960千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		807	892			84		
人役(単位:人) ※小数点第一位まで	正規職員			0.6	0.4			0.4		0.6
	正規職員以外			0.0	0.2			0.4		0.0

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H30年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	日常清掃・維持管理業務及び浄化槽保守点検業務の実施。破損・故障時の緊急修繕工事の実施。		H30年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	経年劣化による修繕費の増加。
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため。
中核市の実施状況	3:半数以上で実施	事業の独自性	特になし	
類似事業の有無(国,県,民間等)	1:有り	「有り」の場合,事業名・実施主体等	市・県や民間事業者が所有する公園・商業施設	
事業の公共性	必要性	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	実施主体の妥当性	政策性 2 1:政策的意思決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	行政専門性 2	1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、公衆便所を衛生的かつ健全に保つことができ、市民の利便性を確保できている。	
H31年度の目標	引き続き、衛生的に維持管理し、公衆衛生の保全及び市民の利便性の向上に努める。	H31年度の主な取組み内容(予定含む)	日常清掃・維持管理業務及び浄化槽保守点検業務の実施。破損・故障時の緊急修繕工事の実施。	特に環境変化、障害、課題等解決のため、H31年度で取り組む改善策 機器ごとの経年劣化の状態やその進み具合などの特徴を把握し、点検や取替による保守管理を行なう。

平成31年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	平成31年度	評価対象年度	平成30年度
--------	--------	--------	--------

※シート内で改元日以降の日付を旧元号(平成)で記載している場合は、新元号に読み替えてください。(例:平成31年5月1日→新元号元年5月1日)

H31年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	南クリーンセンター維持管理担当	連絡先	971-8862			
	部等長名	藤本 則彦	課等長名	岸 洋三	リーダー名	主任	尾家 慶行	担当者名	主任	高橋 貢	技師
H30年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	南クリーンセンター維持管理担当	連絡先	971-8862			
	部等長名	大西 高史	課等長名	岸 洋三	リーダー名	副主幹	高橋 貢	担当者名	主任	安倍 健太郎	技師

1. 事業概要【Plan】 ※平成30年度の内容

事務事業名(施策コード)	53133	南クリーンセンター運営管理事業	事業登録	既存	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	豊かな自然と共生する				重点プロジェクト	-			
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進				主な取り組み	-			
主な取り組み	ごみの適正処理の推進		市長公約						
取り組みの柱	処理施設の更新・維持管理								
総合戦略	基本目標			取組み				(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	
	政策								
	施策								
総合計画の実施計画掲載有無(H30)	2:無し	重点的取組事業該当有無(H30)	2:無し	(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成	
根拠法令, 条例, 個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例、松山市一般廃棄物処理基本計画								
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である南クリーンセンターの運営管理及び維持管理を行う。								
背景(どのような経緯で開始したか)	南クリーンセンターの供用開始による。								
対象(誰を,何を)	・南クリーンセンター施設 ・家庭等から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で、可燃ごみ、粗大ごみに分類されるもの。								
事業内容(どのような活動・手段か)	1 家庭から排出された可燃ごみの焼却処理及び粗大ごみの破砕処理を実施している。 2 ごみを焼却する際の余熱を利用して発電し、施設内で使用するとともに、余剰電力は売却している。 3 ごみを焼却する際の余熱を利用した蒸気の一部を、近くの「アクアバレット」のプールの水温管理等に利用している。 4 施設の運転管理及び維持管理は、委託により実施している。 5 施設の運転業務委託先名: 佐原環境プラント株式会社西日本支店								
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	2:無し	有りの場合、その協働の内容						
事業の周知状況	HP掲載の有無	1:有り	(有りの場合) URL	<a href="http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/kankyo/CleanCenter/minami_cc.html">http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/kankyo/CleanCenter/minami_cc.html</a>		パンフレット等の有無	1:有り	(有りの場合) 設置場所	南クリーンセンター
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由		松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第22条				
始期・終期(年度)	平成	6	～	終期設定できない場合の理由		廃棄物を適正に処理し、生活環境を清潔にするためにごみ処理は欠かせないため。			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費		項	清掃費	目	塵芥処理費	H30予算措置時期	当初
				H28年度	H29年度					H30年度	H31年度
現計予算額(A)(単位:千円)				1,133,724	1,132,538				1,122,871		1,119,696
決算額(B)(単位:千円)				1,060,289	1,057,606				1,073,142		
内訳(単位:千円) ※H28~30→決算内訳, H31→予算内訳	国支出金			0	0				0		0
	県支出金			0	0				0		0
	市債			0	0				0		0
	その他			140,276	163,638				170,543		381,686
	一般財源			920,013	893,968				902,599		738,010
主な経費(単位:千円) ※H30→決算,H31→予算								委託料 631,626千円 工事請負費 287,849千円 需用費 138,542千円		委託料 679,753千円 工事請負費 257,264千円 需用費 165,108千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							流用による増あり				
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		73,435	74,932				49,729		
人役(単位:人) ※小数点第一位まで	正規職員			3.0	3.0				3.0		2.0
	正規職員以外			6.0	4.0				5.0		6.0

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H30年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営・維持 ・H30年7月豪雨による災害廃棄物の受入れと適正処理		H30年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	・建物や設備機器等の経年劣化への対応 ・H30年7月豪雨による災害廃棄物の受入れの継続			
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	搬入されたごみを適正に処理することができた。			
中核市の実施状況	3:半数以上で実施	事業の独自性	特になし				
類似事業の有無(国,県,民間等)	2:無し	「有り」の場合,事業名・実施主体等					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	実施主体の妥当性	政策性	2	1:政策的意思決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		行政専門性	2	1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理が実施できているため。			
H31年度の目標	引き続き、施設の適正管理及び一般廃棄物の適正処理に努める。		H31年度の主な取組み内容(予定含む)	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営・維持		特に環境変化,障害,課題等解決のため,H31年度で取り組む改善策	・経年劣化した建物や設備機器等の更新工事の実施。 ・今後の災害対応のため、H30年7月豪雨時の対応を振り返り、対応内容や改善点をまとめたものを作成する。

平成31年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	平成31年度	評価対象年度	平成30年度
--------	--------	--------	--------

※シート内で改元日以降の日付を旧元号(平成)で記載している場合は、新元号に読み替えてください。(例:平成31年5月1日→新元号元年5月1日)

H31年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	西クリーンセンター維持管理担当	連絡先	953-1153
	部等長名	藤本 則彦	課等長名	岸 洋三	リーダー名	副主幹	渡邊 真二	担当者名
H30年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	西クリーンセンター維持管理担当	連絡先	953-1153
	部等長名	大西 高史	課等長名	岸 洋三	リーダー名	副主幹	渡邊 真二	担当者名

1. 事業概要【Plan】 ※平成30年度の内容

事務事業名(施策コード)	53133	西クリーンセンター運営管理事業	事業登録	既存	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	重点プロジェクト	主な取り組み			
政策	豊かな自然と共生する								
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進								
主な取り組み	ごみの適正処理の推進		市長公約						
取り組みの柱	処理施設の更新・維持管理								
総合戦略	基本目標		政策		施策		取り組み		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無
総合計画の実施計画掲載有無(H30)	2:無し	重点的取組事業該当有無(H30)	2:無し	(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成	
根拠法令, 条例, 個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例、松山市一般廃棄物処理基本計画								
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である西クリーンセンターの運営管理及び維持管理を行う。								
背景(どのような経緯で開始したか)	西クリーンセンターの供用開始による。								
対象(誰を, 何を)	・西クリーンセンター施設 ・松山市内から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分上、可燃ごみ、粗大ごみ(可燃性に限る)に分類されるもの。								
事業内容(どのような活動・手段か)	1 家庭から排出された可燃ごみの焼却処理及び可燃性粗大ごみの破砕処理を実施している。 2 ごみを焼却する際の余熱を利用して発電し、施設内で使用するとともに、余剰電力は売却している。 3 施設の運転管理及び維持管理は、委託(DBO方式)により実施している。 4 施設の運営業務委託先名: 松山環境テクノロジー株式会社								
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	2:無し	有りの場合、その協働の内容						
事業の周知状況	HP掲載の有無	1:有り	(有りの場合) URL	<a href="http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/kankyo/CleanCenter/nishi_cc.html">http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/kankyo/CleanCenter/nishi_cc.html</a>		パンフレット等の有無	1:有り	(有りの場合) 設置場所	西クリーンセンター
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由		松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第22条				
始期・終期(年度)	平成	25	～	終期設定できない場合の理由		廃棄物を適正に処理し、生活環境を清潔にするためにごみ処理は欠かせないため。			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費		清掃費		塵芥処理費		H30予算措置時期	当初
				H28年度	H29年度	H30年度	H31年度				
現計予算額(A) (単位:千円)				879,545	879,069			882,180			893,676
決算額(B) (単位:千円)				858,956	860,056			878,247			
内訳(単位:千円) ※H28~30→決算内訳, H31→予算内訳	国支出金			0	0			0			0
	県支出金			0	0			0			0
	市債			0	0			0			0
	その他			528,457	539,554			532,156			241,182
	一般財源			330,499	320,502			346,091			652,494
主な経費(単位:千円) ※H30→決算, H31→予算								委託料 865,902千円 報酬 7,966千円 賃金 2,266千円			委託料 880,449千円 報酬 8,090千円 賃金 2,503千円
特記事項(単位:千円) ※繰越, 補正, 流用, 事業統合等								流用による増あり			
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		20,589	19,013			3,933			
人役(単位:人) ※小数点第一位まで	正規職員			1.0	1.0			1.0			1.0
	正規職員以外			4.0	4.0			5.0			4.0

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H30年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営・維持 ・H30年7月豪雨による災害廃棄物の受入れと適正処理		H30年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	・H30年7月豪雨による災害廃棄物の受入れの継続		
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点, 悪かった点など	搬入されたごみを適正に処理することができた。		
中核市の実施状況	3:半数以上で実施	事業の独自性	特になし			
類似事業の有無(国, 県, 民間等)	2:無し	「有り」の場合, 事業名・実施主体等				
事業の公共性	必要性	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	実施主体の妥当性	政策性	2	1:政策的意思決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		行政専門性	2	1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由 本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理が実施できているため。				
H31年度の目標	引き続き、施設の適正管理及び一般廃棄物の適正処理に努める。		H31年度の主な取り組み内容(予定含む)	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営・維持		・今後の災害対応のため、H30年7月豪雨時の対応を振り返り、対応内容や改善点をまとめたものを作成する。

平成31年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	平成31年度	評価対象年度	平成30年度
--------	--------	--------	--------

※シート内で改元日以降の日付を旧元号(平成)で記載している場合は、新元号に読み替えてください。(例:平成31年5月1日→新元号元年5月1日)

H31年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	横谷埋立センター-横谷廃棄物センター-維持管理担当	連絡先	977-5235			
	部等長名	藤本 則彦	課等長名	岸 洋三	リーダー名	副主幹	矢野 功二	担当者名	主任	松尾 幸治	主任
H30年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	横谷埋立センター-横谷廃棄物センター-維持管理担当	連絡先	977-5235			
	部等長名	大西 高史	課等長名	岸 洋三	リーダー名	副主幹	矢野 功二	担当者名	主任	松尾 幸治	主任

1. 事業概要【Plan】 ※平成30年度の内容

事務事業名(施策コード)	53133	横谷埋立センター運営管理事業			事業登録	既存	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	豊かな自然と共生する					重点プロジェクト	-				
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進					主な取り組み	-				
主な取り組み	ごみの適正処理の推進				市長公約						
取り組みの柱	処理施設の更新・維持管理										
総合戦略	基本目標					取組み					(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無
	政策										
	施策										
総合計画の実施計画掲載有無(H30)	2:無し		重点的取組事業該当有無(H30)	2:無し		(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成	
根拠法令, 条例, 個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例、松山市一般廃棄物処理基本計画										
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である横谷埋立センターの運営管理及び維持管理を行う。										
背景(どのような経緯で開始したか)	横谷埋立センターの供用開始による。										
対象(誰を, 何を)	・横谷埋立センター施設及び横谷廃棄物センター施設 ・家庭等から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で、埋立ごみに分類されるものとクリーンセンターで発生する焼却灰。										
事業内容(どのような活動・手段か)	1 埋立ごみやクリーンセンターから発生した灰を埋め立てている。 2 埋立地で発生した浸出水は、水処理施設で浄化処理後、放流している。 3 施設の運転管理業務委託先名:wing株式会社中四国支店										
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	2:無し		有りの場合、その協働の内容							
事業の周知状況	HP掲載の有無	1:有り		(有りの場合) URL	<a href="http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/kankyo/CleanCenter/vokotani.uc.html">http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/kankyo/CleanCenter/vokotani.uc.html</a>		パンフレット等の有無	1:有り		(有りの場合) 設置場所	横谷埋立センター
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り		「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由		松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第22条					
始期・終期(年度)	平成	15 ~		終期設定できない場合の理由		廃棄物を適正に処理し、生活環境を清潔にするためにごみ処理は欠かせないため。					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費		清掃費		塵芥処理費		H30予算措置時期	当初
				H28年度	H29年度	H30年度	H31年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				594,038	526,439			560,544			536,943
決算額(B)(単位:千円)				467,352	458,368			500,291			
内訳(単位:千円) ※H28~30→決算内訳, H31→予算内訳	国支出金			0	0			0			0
	県支出金			0	0			0			0
	市債			0	0			0			0
	その他			10,193	1,256			11,745			684
一般財源			457,159	457,112			488,546			536,259	
主な経費(単位:千円) ※H30→決算, H31→予算						委託料 275,270千円 需用費 129,050千円 工事請負費 89,308千円		委託料 304,761千円 需用費 150,845千円 工事請負費 73,563千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越, 補正, 流用, 事業統合等						流用による減あり					
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		126,686	68,071	60,253			
人役(単位:人) ※小数点第一位まで				正規職員		3.0	3.0	3.7	2.0		
				正規職員以外		2.0	2.0	2.0	3.0		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H30年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営・維持 ・H30年7月豪雨による災害廃棄物の受入れと適正処理		H30年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	・H30年7月豪雨による災害廃棄物の受入れの継続				
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点, 悪かった点など	搬入されたごみを適正に処理することができた。				
中核市の実施状況	3:半数以上で実施		事業の独自性	横谷埋立センターで製造した「エコ次亜」を、西部浄化センターにて下水の消毒剤として使用する取り組みについては、日本初の取り組みであり、対外的な情報発信に努めている。				
類似事業の有無(国, 県, 民間等)	2:無し		「有り」の場合, 事業名・実施主体等					
事業の公共性	必要性	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		実施主体の妥当性	政策性	2	1:政策的意思決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)	
	公益性	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			行政専門性	2	1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)	
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由	本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理が実施できているため。				
H31年度の目標	引き続き、施設の適正管理及び一般廃棄物の適正処理に努める。		H31年度の主な取り組み内容(予定含む)	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営・維持		特に環境変化, 障害, 課題等解決のため, H31年度で取り組む改善策	・今後の災害対応のため、H30年7月豪雨時の対応を振り返り、対応内容や改善点をまとめたものを作成する。	

平成31年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	平成31年度	評価対象年度	平成30年度
--------	--------	--------	--------

※シート内で改元日以降の日付を旧元号(平成)で記載している場合は、新元号に読み替えてください。(例:平成31年5月1日→新元号元年5月1日)

H31年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	大西谷埋立センター施設維持管理担当	連絡先	977-0929
	部等長名	藤本 則彦	課等長名	岸 洋三	リーダー名	主査 宮浦 博義	担当者名	主任 西村 英治
H30年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	大西谷埋立センター施設維持管理担当	連絡先	977-0929
	部等長名	大西 高史	課等長名	岸 洋三	リーダー名	主査 宮浦 博義	担当者名	主任 西村 英治

1. 事業概要【Plan】 ※平成30年度の内容

事務事業名(施策コード)	53133	大西谷埋立センター運営管理事業			事業登録	既存	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	豊かな自然と共生する					重点プロジェクト	-				
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進					主な取り組み	-				
主な取り組み	ごみの適正処理の推進				市長公約						
取り組みの柱	処理施設の更新・維持管理										
総合戦略	基本目標	-			取組み	-					
	政策	-				-					
	施策	-				-					
総合計画の実施計画掲載有無(H30)	2:無し		重点的取組事業該当有無(H30)	2:無し		(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成	
根拠法令,条例,個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例、松山市一般廃棄物処理基本計画										
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である大西谷埋立センターの運営管理及び維持管理を行う。										
背景(どのような経緯で開始したか)	平成17年の合併により北条市から移管したことによる。										
対象(誰を,何を)	・大西谷埋立センター施設 ・家庭等から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で、埋立ごみに分類されるものとクリーンセンターで発生する焼却灰。										
事業内容(どのような活動・手段か)	1 埋立ごみやクリーンセンターから発生した灰を埋め立てている。 2 埋立地で発生した浸出水は、水処理施設で浄化処理後、放流している。 3 施設の運転管理業務委託先名:株式会社日本管財環境サービス										
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	2:無し		有りの場合、その協働の内容							
事業の周知状況	HP掲載の有無	1:有り		(有りの場合) URL	<a href="http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/kankyo/CleanCenter/oonishidan.uc.html">http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/kankyo/CleanCenter/oonishidan.uc.html</a>		パンフレット等の有無	1:有り		(有りの場合)設置場所	大西谷埋立センター
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り		「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由	松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第22条						
始期・終期(年度)	平成	5 ~		終期設定できない場合の理由	廃棄物を適正に処理し、生活環境を清潔にするためにごみ処理は欠かせないため。						

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費		清掃費		塵芥処理費		H30予算措置時期	当初
				H28年度	H29年度	H30年度	H31年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				44,995	39,149			46,014			74,118
決算額(B)(単位:千円)				43,009	36,181			50,193			
内訳(単位:千円) ※H28~30→決算内訳, H31→予算内訳	国支出金			0	0			0			0
	県支出金			0	0			0			0
	市債			0	0			0			0
	その他			119	120			176			50
一般財源			42,890	36,061			50,017			74,068	
主な経費(単位:千円) ※H30→決算,H31→予算							委託料 26,913千円 工事請負費 15,146千円 需用費 6,202千円			工事請負費 36,679千円 委託料 29,304千円 需用費 7,210千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							流用による増あり				
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)	1,986	2,968			-4,179			
人役(単位:人) ※小数点第一位まで	正規職員			1.0	1.0			1.3			1.0
	正規職員以外			1.0	1.0			1.0			1.0

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H30年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般廃棄物の適正処理</li> <li>適正施設の運営・維持</li> <li>H30年7月豪雨による災害廃棄物の受入れと適正処理</li> </ul>		H30年度終了までに把握している環境の変化、障害,課題となっている事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>水処理設備機器の老朽化に伴う更新工が必要</li> <li>H30年7月豪雨による災害廃棄物の受入れの継続</li> <li>H30年7月豪雨で被災した構内連絡道路等の災害復旧</li> </ul>		
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	搬入されたごみを適正に処理することができた。		
中核市の実施状況	3:半数以上で実施	事業の独自性	特になし			
類似事業の有無(国,県,民間等)	2:無し	「有り」の場合,事業名・実施主体等				
事業の公共性	必要性	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	実施主体の妥当性	政策性	2	1:政策的意思決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		行政専門性	2	1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理が実施できているため。			
H31年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、施設の適正管理及び一般廃棄物の適正処理に努める。</li> <li>7月豪雨による災害廃棄物の受入れ業務及び施設内の災害復旧工事に努める。</li> </ul>		H31年度の主な取組み内容(予定含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般廃棄物の適正処理</li> <li>適正な施設の運営・維持管理</li> <li>経年劣化した水処理設備機器の点検・更新</li> <li>災害廃棄物の受入れ継続</li> <li>災害復旧工事の実施</li> </ul>	特に環境変化,障害,課題等解決のため,H31年度で取り組む改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>水処理設備機器の老朽化に伴う更新工事の実施。</li> <li>今後の災害対応のため、H30年7月豪雨時の対応を振り返り、対応内容や改善点をまとめたものを作成する。</li> </ul>

平成31年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	平成31年度	評価対象年度	平成30年度
--------	--------	--------	--------

※シート内で改元日以降の日付を旧元号(平成)で記載している場合は、新元号に読み替えてください。(例:平成31年5月1日→新元号元年5月1日)

H31年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	中島リサイクルセンター維持管理担当	連絡先	997-5911
	部等長名	藤本 則彦	課等長名	岸 洋三	リーダー名	主査 渡部 驚	担当者名	主任 井上 慶
H30年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	中島リサイクルセンター維持管理担当	連絡先	997-5911
	部等長名	大西 高史	課等長名	岸 洋三	リーダー名	主査 渡部 驚	担当者名	主任 井上 慶

1. 事業概要【Plan】 ※平成30年度の内容

事務事業名(施策コード)	53133	中島リサイクルセンター運営管理事業	事業登録	既存	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	豊かな自然と共生する			重点プロジェクト	-				
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進			主な取り組み	-				
主な取り組み	ごみの適正処理の推進		市長公約						
取り組みの柱	処理施設の更新・維持管理								
総合戦略	基本目標	-	取組み					(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(H30)	2:無し	重点的取組事業該当有無(H30)	2:無し	(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成	
根拠法令, 条例, 個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例、松山市一般廃棄物処理基本計画								
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみの再資源化等を行う施設である中島リサイクルセンターの運営管理及び維持管理を行う。								
背景(どのような経緯で開始したか)	平成17年の合併により中島町から移管したことによる。								
対象(誰を,何を)	・中島リサイクルセンター施設 ・中島地域の家庭から発生した缶類、ビン類、ペットボトル、紙類等の一般廃棄物。								
事業内容(どのような活動・手段か)	1 中島地域から発生した缶類、ビン類、ペットボトル、紙類等の選別、圧縮、梱包を行う。 2 可燃ごみ、埋立ごみ、水銀ごみ等の一時保管施設としても活用している。								
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	2:無し	有りの場合、その協働の内容						
事業の周知状況	HP掲載の有無	1:有り	(有りの場合) URL	<a href="http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/kankyo/CleanCenter/nakajima_ro.html">http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisetsu/kankyo/CleanCenter/nakajima_ro.html</a>		パンフレット等の有無	1:有り	(有りの場合) 設置場所	中島リサイクルセンター
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由		松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第22条				
始期・終期(年度)	平成	16	～	終期設定できない場合の理由	廃棄物を適正に処理し、生活環境を清潔にするためにごみ処理は欠かせないため。				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費		清掃費		塵芥処理費		H30予算措置時期	当初
				H28年度	H29年度	H30年度	H31年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				38,944	38,864			39,334			41,089
決算額(B)(単位:千円)				35,391	34,107			35,455			
内訳(単位:千円) ※H28~30→決算内訳, H31→予算内訳	国支出金			0	0			0			0
	県支出金			0	0			0			0
	市債			0	0			0			0
	その他			3,277	4,397			4,612			2,660
	一般財源			32,114	29,710			30,843			38,429
主な経費(単位:千円) ※H30→決算,H31→予算								報酬 12,662千円 委託料 7,618千円 賃金 6,348千円			報酬 12,823千円 委託料 9,515千円 賃金 7,764千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		3,553	4,757			3,879			
人役(単位:人) ※小数点第一位まで	正規職員			1.0	1.0			1.1			1.0
	正規職員以外			9.0	9.0			9.3			9.0

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H30年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・一般廃棄物の適正処理 ・適正施設の運営、維持 ・H30年7月豪雨による災害廃棄物の受入れと適正処理		H30年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	・H30年7月豪雨による災害廃棄物の受入れの継続 ・今後の課題:災害廃棄物の受入及び搬出処理に伴う関係課との連絡調整			
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	搬入されたごみを適正に処理することができた。			
中核市の実施状況	3:半数以上で実施	事業の独自性	特になし				
類似事業の有無(国,県,民間等)	2:無し	「有り」の場合,事業名・実施主体等					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	実施主体の妥当性	政策性	2	1:政策的意思決定を要する(政策的) 2:経常業務の度合いが高い(経常的)
	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		行政専門性	2	1:専門知識を要する(行政専門型) 2:専門知識をあまり要しない(一般専門型)
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		適正な資源の有効活用がされている。			
H31年度の目標	引き続き、施設の適正管理及び一般廃棄物の適正処理に努める。		H31年度の主な取り組み内容(予定含む)	・一般廃棄物の適正処理 ・適正施設の運営、維持		特に環境変化、障害、課題等解決のため、H31年度で取り組む改善策 ・今後の災害対応のため、H30年7月豪雨時の対応を振り返り、対応内容や改善点をまとめたものを作成する。 ・災害廃棄物の受入及び搬出処理についても、H30年7月豪雨時の対応を振り返り、対応内容や改善点をまとめ、関係課と協議できる機会を設ける。	

平成31年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	平成31年度	評価対象年度	平成30年度
--------	--------	--------	--------

※シート内で改元日以降の日付を旧元号(平成)で記載している場合は、新元号に読み替えてください。(例:平成31年5月1日→新元号元年5月1日)

H31年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	施設維持管理担当	連絡先	948-6902		
	部等長名	藤本 則彦	課等長名	岸 洋三	リーダー名	主幹	篠原 陽三	担当者名	主任	橋口 美佳
H30年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	施設維持管理担当	連絡先	948-6902		
	部等長名	大西 高史	課等長名	岸 洋三	リーダー名	副主幹	奥村 康男	担当者名	主任	橋口 美佳

1. 事業概要【Plan】 ※平成30年度の内容

事務事業名(施策コード)	59999	松山衛生事務組合負担金	事業登録	既存	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム		個別プログラム	-		
政策	その他				重点プロジェクト	-		
施策	その他				主な取り組み	-		
主な取り組み	その他		市長公約					
取り組みの柱	その他							
総合戦略	基本目標	-	取組み					(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無
	政策	-						
	施策	-						
総合計画の実施計画掲載有無(H30)	2:無し	重点的取組事業該当有無(H30)	2:無し	(重点該当の場合)	開始年度	平成	終了(予定)年度	平成
根拠法令,条例,個別計画等	松山衛生事務組規約							
事業の目的(どのような状態にするか)	市の責務として、し尿の適正な処理を行うことを目的とする。							
背景(どのような経緯で開始したか)	し尿処理は市の責務であり、適正に処理する必要があるため、浄化センターで処理することが効果的である。松山市では、昭和41年4月2日、松山市、東温市(現)及び砥部町の共同により一部事務組合として設立された松山衛生事務組合の共同し尿処理施設(浄化センター)の維持管理費として、負担金を支払い、し尿の処理を行っている。							
対象(誰を、何を)	負担金交付先:松山衛生事務組合							
事業内容(どのような活動・手段か)	松山衛生事務組合の組合議会の議決に基づく当該年度の負担額の支払いを行う(松山衛生事務組合へ負担金を支出)。							
市民や民間等との協働の状況	協働の有無	2:無し	有りの場合、その協働の内容					
事業の周知状況	HP掲載の有無	3:掲載する性質でない	(有りの場合) URL	パンフレット等の有無		2:無し	(有りの場合) 設置場所	
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由					
始期・終期(年度)	昭和	41	～	終期設定できない場合の理由		生活環境を保全するためにし尿の適正処理は欠かせないため。		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費		項	清掃費	目	し尿処理費	H30予算措置時期	当初
				H28年度	H29年度						
現計予算額(A)(単位:千円)				603,264	603,264				603,264		603,264
決算額(B)(単位:千円)				603,264	603,264				603,264		
内訳(単位:千円) ※H28~30→決算内訳, H31→予算内訳	国支出金			0	0				0		0
	県支出金			0	0				0		0
	市債			0	0				0		0
	その他			0	0				0		0
	一般財源			603,264	603,264				603,264		603,264
主な経費(単位:千円) ※H30→決算,H31→予算								負担金補助及び交付金 603,264千円		負担金補助及び交付金 603,264千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)	0	0				0		
人役(単位:人) ※小数点第一位まで	正規職員			0.1	0.1				0.1		0.1
	正規職員以外			0.0	0.0				0.0		0.0

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(H30年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	負担金の支払い。		H30年度終了までに把握している環境の変化, 障害,課題となっている事項	特になし
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため。
中核市の実施状況	2:半数未満で実施	事業の独自性	特になし	
類似事業の有無(国,県,民間等)	2:無し	「有り」の場合,事業名・実施主体等		
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	政策性 2
	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	実施主体の妥当性 行政専門性 2
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由 し尿を適正に処理し、生活環境の保全に寄与することができた。		
H31年度の目標	引き続き、し尿の適正処理により、生活環境の保全に努める。	H31年度の主な取り組み内容(予定含む)	負担金の支払い	特に環境変化,障害,課題等解決のため,H31年度で取り組む改善策